

スマートフォン・プライバシー・セキュリティ・イニシアティブ (SPSI) の改正について

(Google提出資料)

2025年3月5日

はじめに

Googleは、プラットフォーム全体で青少年保護と子どもの安全を優先することに取り組んでいます。Googleは、青少年ユーザーのためのより安全なオンライン環境を構築するために、Google PlayとAndroidに関する包括的な対策を講じています。

セクションIでは、Google PlayとAndroidの各プラットフォームにおいて、青少年保護と子どもの安全を強化するためにGoogleが行っている取組の概要を説明します。

2024年6月、日本においてスマートフォンにおいて利用される特定ソフトウェアに係る競争の促進に関する法律(スマホ新法)が制定され、PlayやAndroidといった指定事業者が提供するアプリストアやモバイルOSについて、モバイルエコシステムにおける競争を改善することを目的とした、新しい一連の義務とルールに従うことが要求されています。しかしながら、これらの義務の一部は、青少年ユーザーがモバイルデバイスにアクセスするにあたって、青少年保護と子どもの安全を確保するGoogleの能力を損なう懸念があります。スマホ新法では、当該行為が青少年保護を確保することを目的としている場合には、特定の義務の例外を認めており、このリスクを認識しています。

セクションIIでは、青少年保護と子どもの安全のためにスマホ新法によって提起されたいくつかの具体的な懸念事項と、これらのリスクが法令遵守の一環として、指定事業者が提供するアプリストアとモバイルOSによって適切に管理されることを確保するために取るべき措置について概説します。

Googleの回答が利用者情報に関するワーキンググループの議論に役立つことができれば幸いです。

I. 青少年保護をめぐるGoogleの取組

Googleは、Google PlayとAndroidの各プラットフォームにおける青少年保護と子どもの安全を強化するためのGoogleの包括的な取組に関して、以下の情報を提供いたします。これらの取組は、青少年ユーザーのための安全で責任あるオンライン環境を構築するというGoogleの継続的なコミットメントを反映しています。

A. 子どもの安全基準に関するポリシー([英語](#)/[日本語](#)):

- 2024年4月、Googleは、児童の性的虐待と搾取(Child Sexual Abuse and Exploitation、CSAE)との撲滅に特に焦点を当てた、強固な「子どもの安全基準に関するポリシー」の運用を開始しました。
- このポリシーは、ソーシャル及び出会いのカテゴリ内のアプリケーションが、以下をはじめとする厳格な基準を遵守することを義務付けています。
 - CSAEに対する明確な基準の公表。

- 懸念事項を報告するためのアプリ内フィードバック手段の提供。
- 児童性的虐待のコンテンツに対処するための積極的な措置。
- 適用されるすべての児童の安全に関する法律の厳格な遵守。
- 児童の安全を担当する専用窓口の指定。
- デベロッパーは、これらの基準の遵守を確認する申告フォームの提出期限を含め、遵守されるべき期限を遵守します。
- すべてのデベロッパーは、2025年3月19日までにポリシーに完全に準拠する必要があります。この日以降、ポリシーに準拠していないすべてのアプリは Google Play から削除される可能性があります。

B. 保護者による使用制限 ([英語](#) / [日本語](#))

- Google Playは、保護者による包括的な使用制限機能を提供しており、保護者は子どもによるコンテンツへのアクセスを効果的に管理できます。
- これらの制限により、次のことが可能になります。
 - 年齢評価に基づいたアプリ、ゲーム、映画、書籍及びテレビ番組のフィルタリング。
 - 不正な変更を防止するためのPINに基づく制限の実施。
- 保護者による使用制限の設定は、Google Playアプリケーション又はGoogleファミリーリンクを通じて容易に管理できます。

C. Googleファミリーリンク ([英語](#) / [日本語](#)):

- ファミリーリンクは、保護者がデジタル環境についての基本的なルールを設定し、オンライン活動を監視し、子どもを優れたコンテンツに導くのに役立つペアレンタルツールです。
 - ファミリーリンクを使用する保護者は、プラットフォーム上で子どもがアクセスできるコンテンツに対する保護者による使用制限を有効にすることで、Googleの製品全体における子どもの活動を監督することもできます。
 - ファミリーリンクを使用すると、保護者は子どものデバイスのダウンタイムを設定したり、アプリの時間制限を有効にして、健全なバランスを奨励したりすることができます。また、ダウンロード前にアプリを承認又はブロックすることもできます。
 - さらに、ファミリーリンクを使用すると、保護者は、子どものデータについて意味のある選択をすることができます。保護者は、Chrome経由でアクセスしたウェブサイトや拡張機能、及び子どものデバイスにダウンロードしたアプリのアクセス許可を閲覧及び管理できます。このツールを使用することで、保護者は、必要に応じて、子どものパスワードのリセット、個人情報の編集及びアカウントの削除など、子どものアカウントとデータ設定を管理することもできます。
 - 子どもが18歳未満、かつ、子どものアカウントがファミリーリンクで管理されている場合、保護者は、購入承認を設定して、以下で説明するファミリー用お支払い方法の使用を制限できます。
- 2025年2月、Googleは、今後のファミリーリンク機能をリリースする旨も[発表](#)しました。これらの機能は徐々に展開されていきます。
 - ファミリーリンクの再設計: Googleは、ファミリーリンクをより直感的なデザインにアップデートし、保護者が子どものデジタル体験を簡単にナビゲートし、管理できるようにしました。
 - 簡素化されたコントロール: 保護者は、合理化された「コントロール」タブを通じて、子どものアカウント、プライバシー設定、コンテンツフィルターをより簡単に管理できるようになりました。
 - 強化されたスクリーンタイム管理: 新しい「スクリーンタイム」タブには、アプリの使用

状況の概要、制限時間、ダウンタイム、新しい「スクールタイム」機能など、すべてのスクリーンタイム管理ツールが統合されています。

- 「スクールタイム」拡張機能:「スクールタイム」機能は、Androidスマートフォン及びタブレットに提供されます。これにより、保護者はアプリを制限したり、通知を消音したりすることで、授業時間中に注意散漫となることを防ぐことができます。また、「休息時間」を設定することもできます。
- Android用「保護者が管理する連絡先」: Googleは近く、保護者がAndroidスマートフォンでの子どもの連絡先を許可及び管理する機能を導入する予定であり、許可された個人との間の通話やメッセージを制限します。

D. コンテンツのレーティング([英語](#)／[日本語](#))

- Googleプレイは、標準化されたコンテンツのレーティングシステムを利用して、アプリ及びゲームの対象年齢に関する明確かつ簡潔な情報を保護者に提供しています。
- こうしたレーティングは、コンテンツのダウンロードに関する十分な情報提供に基づいた意思決定を促します。

E. ファミリー用お支払い方法([英語](#)／[日本語](#))

- Googleプレイはファミリー用お支払い方法も提供しており、保護者は自身の支払情報を家族グループと連携させることができます。
- この機能により、保護者は次のことが可能となります。
 - 家族グループ内の18歳未満の者による購入を許可又は否認します。
 - 家族全員の支出活動を監視します。
 - お子様の支払上限額を設定します。
- この機能は、金銭面の透明性を促進し、お子様による無断購入を防止します。

F. 教師承認済みアプリ([日本語](#))

- Googleプレイは、「[キッズ](#)」タブ内の「教師承認済み」セクションはじめ、教師が許可したアプリを推奨する取組を模索及び推進しています。このセクションでは、デザイン、エンゲージメント(ユーザー関与度)、教育効果、対象年齢、広告及びアプリ内購入の適切性などの要素に基づいて、教師及び専門家によってレーティングされたアプリを取り上げています。
- こうした取組の目的は、次のとおりです。
 - 保護者及び教師に対して、高品質で教育的なアプリの厳選されたリストを提供します。
 - 専門家による審査プロセスを提供して、アプリが教育基準及び対象年齢に相応しいものであることを確認します。
 - 子供向けの貴重な学習ツールの発見を促進します。
- この機能は、保護者がお子様のためにアプリをダウンロードするにあたり、教育的な決定を行うことを支援するよう設計されています。

G. 年齢確認モデル

- Googleは最近、2025年に機械学習を活用して、未成年と成人のユーザーを区別して年齢を推定し、年齢に相応しい最高品質の体験及び保護を提供することを発表しました。こうした年齢推定技術のテストは2025年に開始され、このモデルは日本を含む世界中のより多くのユーザーに段階的に展開される予定です。
- 年齢推定モデルは、機械学習を使用して、ユーザーのアカウント設定に基づき、当該アカウ

- ントに既に関連付けられている様々なシグナルを解釈します。
- これらのシグナルは、ユーザーが18歳未満である可能性を推定し、Googleの製品とサービス全体に保護を追加で適用することで、年齢により層相応しい体験を保証することに寄与します。モデルが誤った推論を行った場合（つまり、ユーザーが実際には18歳以上である場合）、ユーザーはクレジットカード、自撮写真、公的身分証明書の写真等を利用して自らが18歳以上であることを証明することができます。

II. スマホ新法によって提起される青少年保護上の課題

セクションIIに記載のとおり、Googleは、青少年ユーザーにとって安全で責任あるオンライン環境の構築に取り組んでおり、これを実現するために大規模かつ包括的な対策を講じています。しかしながら、スマホ新法の施行により、かかる取組に対する重大かつ固有の課題が生じています。Googleはとりわけ、必要な保護措置が実施されない限り、スマホ新法の下で導入される新たな義務により、日本における青少年にとって安全なオンライン環境を構築するGoogleの能力が損なわれるおそれがあると懸念しています。

■ スマホ新法で想定されているように、複数の経路によるアプリの流通を促進するオープンなプラットフォームを維持しながら、セキュリティリスクを管理するためのGoogleのアプローチについて概説します。

A. ユーザーの選択／オープン性

スマホ新法で想定されているように、Googleはオープンソースモデルで運営されています。つまり、iOSとは異なり、Androidプラットフォームでは、サードパーティのアプリストアが利用可能であり、デベロッパーはそれらのアプリストアを通じてアプリを配信することができます。また、Androidデバイスにサードパーティのアプリ（アプリストアを含みます。）をプリインストールすることも可能です（例えば、Spotify、Epic、Amazon、Facebookといったデベロッパーは、通常、プリインストールに関する契約を締結しています。）。さらに、アプリストアを経由せずにブラウザから直接Androidデバイスへアプリをダウンロードすることも可能であり、これは「サイドローディング」と呼ばれています。Googleは、このようなオープン性にはより高いセキュリティリスクが伴うことを認識しています。そのため、ユーザーの選択とユーザーの安全性の間のバランスを取ることを目指しています。

Googleは、ユーザーを保護するため、セキュリティ対策に多大な投資を行っています。例えば、Google Playサービスは、すべての認証済みAndroidデバイス上で主要機能を有効にするコアシステムソフトウェアによって構成されています。Google Playサービスが提供するこうしたコアデバイス機能の一つが、セキュリティと信頼性です。Google Playサービスは、Androidデバイスのセキュリティと信頼性の確保を支え、デバイスのセキュリティ機能を最新の状態に維持します。以下はその一例です。

- アプリに既知のマルウェアが含まれる場合にユーザーに警告するGoogle Playプロテクト¹。
- デバイスが他のデバイスを安全に自動認識して接続したり、近くのAndroidデバイスとファイルやアプリを共有したりすることを可能にすることを含む、安全な接続の識別と検証²。
- SafetyNetによる、詐欺やセキュリティに対する脅威からのアプリの保護³。
- ユーザーがロック画面のパスコードを設定している場合におけるユーザーデータのエンドツーエンド暗号化バックアップ⁴。
- ユーザーのパスワードの管理と保護⁵。

また、サイドローディングされたアプリは、Google Playストアのセキュリティ保護やポリシーの対象外であるため、ユーザーはサイドローディングにより、意図せずマルウェアやその他の有害なアプリをインストールしてしまうリスクがあります。これを回避するため、Androidでは、ユーザーが「不明な提供元」(例: インターネットから直接)からアプリをインストールしようとする際に、確認を求めるメッセージが表示されます⁶。互換性定義ドキュメントによって、デバイスは、ユーザーが、不明な提供元からのアプリのインストール許可をアプリごとに付与し、又は取り消すことのできる機能を備えるべきであると定められています⁷。これは、ユーザーにあらゆる提供元からアプリのサイドローディングを行う柔軟性を与えつつ、ユーザーが意図せず有害なソフトウェアをデバイスにインストールしてしまうリスクを低減することで、質の高いユーザー体験の確保に役立っています⁸。

■

■

■

¹ Google Playプロテクトに関する詳細は、[Google Play プロテクトを使用してアプリの安全性とデータ プライバシーを確保する](#)に記載されています。

² Googleセキュリティ及び信頼性識別認証に関する詳細は、[Android スマートフォンでスマート デバイスを操作する](#)に記載されています。

³ SafetyNetに関する詳細は、[SafetyNet Attestation API | Android Developers](#)に記載されています。

⁴ Google Playにおける暗号化に関する詳細は、[Google及びAndroidは、バックアップを保護することであなたを支えています \(Google and Android have your back by protecting your backups\)](#)に記載されています。

⁵ Googleにおけるパスワードの保護及び管理に関する詳細は、[パスワードを保存、管理、保護する - Android - Googleアカウントヘルプ](#)に記載されています。

⁶ 互換性定義ドキュメント、セクション4

⁷ 同上

⁸ Android Developers「さまざまな配信方法」
<https://developer.android.com/distribute/marketing-tools/alternative-distribution>の「提供元不明のアプリのインストールを許可する」を参照のこと。

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

結論

本書面で申し上げましたとおり、Googleは、Googleのプラットフォーム全体で青少年保護と子どもの安全を優先すべく尽力しています。そして、青少年ユーザーにとってより安全なオンライン環境を構築すべく、Google PlayとAndroid上で包括的な対策を講じています。適切な保護措置がなければ、スマホ新法は、日本国内の青少年をオンライン上で保護するGoogleの能力を著しく損なう可能性があります。そのため、総務省におかれましては、これらの保護措置を改訂版のスマートフォン・プライバシー・セキュリティ・イニシアティブ(SPSI)に盛り込んでいただきますよう、切にお願い申し上げます。